

# 啓伸塾 便り

5月(皐月) May

基礎学力を重視する学習塾  
**啓伸塾**  
ただ今、新春の新入塾生募集中

## 100年視力 目の寿命は延ばせる 眼科外科医 深作眼科院長 深作秀香 より

目は外傷に弱いだけではありません。  
従来は、光という点、夏の太陽光線を防ぐサングラスだけで、目の障害を防ぐことができた。ところが、近年は紫外線だけではなく、多くの「LED光線による網膜症や白内障が問題」となりつつあります。「LED光は短い波長の可視光線です。」

車のライトも「LED化」してきて、運転していると以前のハロゲンライト時代より、光が痛くくらくらしてしまうと思いませんか？これは、目が危険を察知し、まぶしいとか痛いというサインで、光の害について警告を発しているといえます。

そしてもちろん、近年はスマートフォンによる光にさらされている現実があります。

小さなお子さんさえ、かなりの幼少期から、この「LED光を発するスマートフォンやタブレットを長時間見させる方がいますが、子どもはスマホから遠ざけましょう。スマホの害から子どもを守るのは親の務めだと思えます。

光は波をもった電磁波です。この電磁波は波長が短いほど、細胞にあたったときに、電子を放出させるエネルギーが強い、つまり細胞を傷つけているのです。

そのため、「LED光が主体の時代は、光による細胞障害が非常に増えていきます。」

印象としては「10年ほど、毎回数時間もスマホを見ている生活を続ける」と、若くしても白内障や網膜黄斑部の光細胞障害を起すことが懸念されます。

現代では多くの人がそのような生活を送っていますね。多くの人に危険が迫っています。

## 中学2年生・3年生の実力テストの結果について

3月に行われた塾内実力テストの結果を、お返ししました。保護者のみなさんは、ご覧になられましたでしょうか。中3生のみなさんは、岐阜新聞学カテストの第1回目の過去問(1・2年範囲)をテストとして行いました。

全体の点数分布・平均点・志望高校の合格ラインもお伝えしました。中3生は自宅での勉強時間を増やして、1・2年の学習内容を今までの教材を使って、自主勉として取り組んでください。

## このテスト結果から、わかったことをお伝えします

それは、英語・国語の平均点が、問題から考えても、低かったことです。特に英語は低いです。何らかの対策をしなければ、入試に対応できません。それだけでなく、将来、日本の人口が減少し人手不足になり、それを外国人が補うようになる、英語ができないと条件の良い仕事に就けなくなります。

逆に、英語ができると仕事の選択肢が広がり、有利な就職ができます。このようなことから、英語の必要性は、この先、益々高まります。英語を、特に頑張りましょう。

英語に関して、塾では、中学2年生も3年生も、復習と今の学年の学習を並行して行っています。また、国語は、中3のみなさんは、短時間でできる文章読解の問題を、毎回、行っています。これらの対策で、英語も国語も底上げをしたいと考えています。

中学3年生は、5月に学校では、実力テストが行われます。年間4回以上ある入試に向けたテストの第1回目です。学校ではこれらのテストの結果をもとに高校の進路指導を行います。大切なテストになります。

中3生のみなさんは、まず、3月に行った塾内実力テストの復習をして、出来なかった問題を出来るようにしてください。そして、実力テストの過去問題をお渡ししますので、その問題にも取り組んで、できるようにして下さい。

**来年3月、入試で合格を勝ち取って、自分の志望校で桜が見られるように、今から入試のための勉強を始めてください。**

## ゴールデンウィーク・5月の予定

- 4月29日(火) 昭和の日 (塾の授業を行います)
- 5月5日(月) こどもの日 (塾の授業は休みます)
- 5月6日(火) 振替休日 (塾の授業は休みます)

漢字検定申し込み締切日 5月26日(月)  
漢字検定実施日 6月28日(土)  
漢字検定の詳しいご案内は別紙にてお渡しします。

## 誰もがまだ気付いていない学習面だけではないスマホの危険性

そのため、「LED光が主体の時代は、光による細胞障害が非常に増えていきます。」

現代では多くの人がそのような生活を送っていますね。多くの人に危険が迫っています。

## 本田宗一郎の名言集から 正しい勉強法について

三月、高校を卒業した卒業生が、その後の進路を報告しに来てくれました。職業科の高校に進学して就職が決まった子、進学校に行って大学に入学した子、様々です。

今年はその中で、誰もが知る大企業に就職した子や、難関大学に合格した子の共通点を考えてみました。

この子たちはスマホを持っていましたが、この子も塾でそれを使っているのを見たことはありません。

宿題は必ずやってきました。

その宿題でわからないところがあれば、必ず質問してくれました。テスト前では、テスト対策日は必ず参加してくれましたし、空いている席があれば毎日塾に来てテスト勉強をしに来る子もいました。

塾に来るときは、必ず一人でした。誰か、友だちと相談して来ることはありませんでした。

勉強内容は、学校の教科書・ワークの問題をくり返しやっています。また、塾のワークはテスト範囲を隅から隅までやっています。

そして、納得できないことは自分なりに考え、どうしてかわからないことがあれば、納得できるまで何度も何度も質問してくれました。

また、説明して納得できた問題は、必ず自分一人でできるか、もう一度やってみることをしていました。

**本田宗一郎の名言集**から  
人生は見たり・聞いたり・試したりの三つの知恵でまわっているが、多くの人は見たり・聞いたりばかりで一番重要な、試したりをほとんどしない。

この名言を子どもたちの勉強の姿勢にあてはめると、「見たり・聞いたり」とは「自分なりに考えたり、教えてもらったりすること」とだと思います。

そして「試したり」とは「もう一度やってみること」です。

勉強できる子は、本田宗一郎の名言通りのことをしていると思います。私は、これが**勉強の正しいやり方**だと思います。